

事業所強み

- 1, 看護師配置が多く医療的ケアがあっても利用できる
- 2, 特定行為事業所であり特定行為従事者が配置されている
- 3, リハビリ職（PT・OT・ST）の配置がありリハビリが受けられる
- 4, 入浴ができる
- 5, 訪問看護や訪問介護事業所 相談支援事業所を併設しているため通所以外のサービス調整・相談等ができる

事業所弱み

- 1, 訪問系のサービス事業所を改装した通所施設である環境問題
- 2, 入浴が可能である反面、療育活動の時間が確保できない
- 3, 看護師・介護士が児童指導員を担うため療育プログラムの内容が乏しい
- 4, リハビリ器具等の設置がない
- 5, 外部事業所との交流がない
- 6, 災害や防災対策の周知が不十分

事業所改善への取り組み

既存の居室環境を生かし安全に活動できる工夫をしていく
年齢や体の動き、医療的ケアの内容により居室を選択していく
楽しく運動やリハビリができる用具の設置（バランスボールやトランポリンなど活用）
（専門職による個別リハビリプログラムでの対応重視）
入浴介助と療育活動の時間配分の工夫をして支援していく
保育士や教員資格保持者の採用に取り組んでいく
防災や災害対策マニュアル等の説明を保護者に毎年行い周知を促していく

事業所評価を行っての事業所の感想

職員と保護者の評価結果はほぼ一致しており、当事業所の強みである看護師の配置や医療的ケアに対応できる点は、保護者からも高い評価を得た。
しかし、課題は医療ケアや入浴に時間が割かれ療育に乏しい点や環境問題である。
既存の環境を生かし、安全に心地よく過ごしていただく居室環境を整えていきたい。
また、医療的ケアのある児童の利用が多く、入浴介助への希望も高い。
短時間の利用時間の中で、看護師と介護士が日々のケアと療育を担っているが、長期の休暇等も利用して個々の児童に適した療育が行えるよう検討していきたい。